

沼津アルプス山行報告

【山行日】平成 28 年 1 月 31 日

【参加者】CL 辻本・SL 橋本・今泉・高橋・鈴木(憲)・鈴木(愛)・高地・村尾・山内

【コース】日守山登山口～奥沼津アルプス～大平山～鷲頭山～志下山～志下坂峠～沼津御用邸

4 6 4 6 倶楽部で行こう！の呼びかけに 9 名のパーティーが出来あがった。千葉を 5 時にスタートし、海老名 SA で 2 台が合流。朝食&打合せを済ませ、日守山登山口に着く。1 台を沼津御用邸にデポし、8 時 50 分、日守山の登山路をスタート。ここから奥沼津アルプス～沼津アルプスの低山縦走だ。前日の降雨で、登山道がぬるぬると滑りやすい。日守山(大嵐山 191m)には 25 分ほどで到着。展望台があり、眼下には蛇行する狩野川や沼津市、三島市方面が展開。残念ながら富士山は雲の中。遠く伊豆スカイライン方面の連山もくっきりとはしていない。気象庁のピンポイント予想では 6 時から 15 時まで晴れマークだったのに。橋本氏いわく、「俺は台風予想以外、あんまり気象庁予報は信用していない。」早く言ってよ～ん。



奥沼津アルプススタート記念写真



日守山展望台



金柑ゲット



奥沼津アルプス入口

日守山から奥沼津アルプスに入る。このコースは山溪 1 月号の郷山めぐりに紹介されていて、低山ながら岩尾根のスリルが楽しめるとあった。これが入口？看板がなければ分からない奥沼津アルプスの取り付きから 90mほど急下降し、ゆるゆると高度を上げながら瘠せ尾根がつづく。やがて梯子が登場し岩場を下りる。コースは虎ロープを掴みながらの急登となる。



喘ぎながら登るとポンと大平山のトップにでる(10:40)。ここまで約 2 時間。大平山は多比登山口からの登山者も多く、この山から香貫山までが沼津アルプスと云われている。

大平山で大休止の後、意外に急峻な岩尾根や、ウバメガシが茂る瘠せ尾根を、ピッチを上げながら縦走は進む。このコースの最高峰(392m)、鷲頭山(12:15)に着きここで賑やかな昼食となった。

私のザックはテルモスのロックが外れお湯浸しになり、お尻まで濡れてしまっていた。これからはオムツが必携と皆から揶揄される。しかも運んできた鍋焼きうどんのアルミ底も破れ、火に掛けた御汁も漏れ出した。コップェルに移し替え事なきを得たが、またもやお漏らしを揶揄される。

腹も満ち、伊豆の暖かさを満喫しながら鷲頭山の急坂を 200m下る。登山道は泥んこで滑る、滑る。

虎ロープを掴みながらの下降だった。縦走路が平坦になると、波穏やかな駿河湾が眼下に広がる。

行く手には富士山が輝く予定だったが、今日は裾野だけ。振り返れば鷲頭山が^{どっこ}突兀していた。

山桜の木も多く、春の好天には素晴らしい風景が広がるに違いない。沼津アルプスが好まれている

所以であろう。

志下山(13:00)を過ぎ、志下坂峠で急登の見える徳倉山に行くことを提案。海鮮！温泉！と軟弱な声に圧倒され、沼津御用邸に向かって下山。ここが 4646 倶楽部の神髄であろう。

御用邸でデポした 1 台を回収し、海鮮料理が待つ沼津港に向かう。思い思いの料理に舌鼓を打ち、土産を手にして(温泉はあきらめた)、一路千葉への帰途についた。



大平山山頂にて



以外に急峻な岩尾根



鷲頭山山頂にて ここで昼食



眼下に広がる駿河湾



ふり返れば鷲頭山



しらすイクラ丼

奥沼津アルプス～沼津アルプス GPS データ図

